

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： Access			科目担当： 山 舘 誠		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>34</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>30時間でマスター Access 2013</u> <u>実教</u> 出版 <u>      </u> 著				
目標	1. Microsoft Access の特徴と操作方法を理解する。 2. RDB のデータ構造を視覚的に理解する。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. Accessの基本操作 ・実習問題	4
2. データベースのデータ編集 ・実習問題	5
3. テーブルの操作 ・実習問題	5
4. データベースの設計 ・実習問題	5
5. レポートの印刷 ・実習問題	5
6. 総合演習	5
7. マクロの利用	5
時間数合計	34

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： CASL言語		科目担当： 成田英孝 (システム設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>56</u> 時間	実績 <u>        </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>CASL IIプログラミング</u> <u>インフォテック・サーブ</u> 出版				
目標	CASL 言語の文法とアルゴリズムを理解し、基本情報技術者試験の午前問題を解答できる。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、問題演習、課題実習。</li> </ul> <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出欠状況</li> <li>② 期末テスト</li> <li>③ 確認テスト</li> <li>④ 授業中の学習態度</li> <li>⑤ 実習課題提出状況</li> <li>⑥ 検定取得状況</li> <li>⑦ 模擬テスト</li> </ul> <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥及び⑦は、成果に応じた加点を行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A：85点以上</li> <li>B：70点以上85点未満</li> <li>C：60点以上70点未満</li> <li>D：60点未満</li> </ul> <p>3. 予習・復習について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 殆どの部分を初心者が理解するには膨大な時間が必要となることが予想されるため、基本的に予習を勧めていない。</li> <li>(2) 復習は大いに勧めている。学習内容を繰り返す事で、どれだけ知識や技術が身に付くかを測定のため、随所に問題演習(確認テスト、課題演習、模擬テスト)を設けている。</li> </ul> <p>4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。</p>				

指 導 事 項	予定時間
1. COMETⅡの仕様	5
2. CASLⅡの仕様	5
3. 機械語命令	20
4. プログラミング問題演習	18
5. 総合演習問題	8
時間数合計	56

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： Excel			科目担当： 岩崎彰男 (システム開発の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 66 時間	実績 _____ 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>30時間アカデミック Word&amp;Excel</u> <u>実教</u> 出版 <u>杉本くみ子</u> 著				
目標	1. 表計算ソフトExcelの基本操作を修得する。 2. 様々な機能(数式、関数等)を利用し、活用できる資料を効率よく作成できる。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び実習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

指 導 事 項	予定時間
1. 基本の表構成	5
2. 表の編集と絶対参照	5
3. グラフの作成と編集	5
4. ページレイアウトと印刷	5
5. 条件で判断する	10
6. 別表の参照とエラー回避	5
7. データベースの利用	5
8. ピボットテーブル	6
9. 基本情報技術者試験表計算問題対策	20
時間数合計	66

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： HTML言語		科目担当： 成田英孝 (システム設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>42</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>30時間アカデミック Webデザイン</u> <u>実教</u> 出版 <u>景山明俊・石上美季子</u> 著				
目標	HTMLの基本的な書き方を理解し、自分でイメージしたWebページを作成できる。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義と課題実習。</li> </ul> <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。</p> <p>&lt;評価項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出欠状況</li> <li>② 授業中の学習態度</li> <li>③ 課題提出状況</li> </ul> <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～③の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。</p> <p>&lt;評価基準&gt;</p> <p>A：85点以上</p> <p>B：70点以上85点未満</p> <p>C：60点以上70点未満</p> <p>D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 殆どの部分を初心者が理解するには膨大な時間が必要となることが予想されるため、基本的に予習を勧めていない。</p> <p>(2) 講義後の実習成果として、文法の理解となり、復習となる。</p> <p>4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。</p>				

指 導 事 項	予定時間
1. Web 制作の概要と基礎 (メールの設定含む)	2
2. 簡単な Web ページの作成 (HTML5 の外枠、FTP の利用法含む) 例題 1, 2, 3	3
3. 表現追加 (タグを知って、ラクに加工) 例題 4~14 実習 1~13	15
4. 細部表現の書式設定 (css, id, class, 外部ファイル化) 例題 15~26 実習 14~23	15
5. 「私のトップページ」 仕上げ (各例題、実習、自作品へのリンク)	7
時間数合計	42



2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： J a v a 言語			科目担当： 山 館 誠 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： I Tエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>140</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>J a v a プログラミング</u> <u>インフォテック・サーブ</u> 出版 <u>      </u> 著 2. 副教材 基本情報 STEP UP 演習 J a v a 対策 (インフォテック・サーブ)				
目標	1. 基本文法やオブジェクト指向言語の特性を理解し、再利用可能なプログラミング手法を学ぶ。 2. 簡単なアプリケーションの作成能力を養う。 3. 基本情報技術者試験の問題を解答できる程度を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義、問題演習、課題実習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出欠状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 実習課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥及び⑦は、成果に応じた加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 殆どの部分を初心者が理解するには膨大な時間が必要となることが予想されるため、基本的に予習を勧めていない。 (2) 復習は大いに勧めている。学習内容を繰り返す事で、どれだけ知識や技術が身に付くかを測定のため、随所に問題演習(確認テスト、課題演習、模擬テスト)を設けている。 4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

指 導 事 項	予定時間
1. J a v a の概要	10
2. J a v a プログラムの基本① (プログラムの基本形、変数、演算子、配列)	10
3. J a v a プログラムの基本② (制御構造、メソッドの基本、メソッドのオーバーロード)	15
4. オブジェクト指向プログラミング① (クラス定義、オブジェクト生成、コンストラクタ)	15
5. オブジェクト指向プログラミング② (アクセス修飾子とパッケージング)	10
6. オブジェクト指向プログラミング③ (参照型の配列、ArrayListクラス)	10
7. オブジェクト指向プログラミング④ (継承、サブクラスの定義、オーバーライド)	15
8. オブジェクト指向プログラミング⑤ (インタフェースとその拡張、ポリモフィズムの実現)	15
9. オブジェクト指向プログラミング⑥ (拡張 f o r 文、コレクション、例外処理、スレッド)	20
10. J a v a プログラミング能力認定試験対策 (2月初旬受験)	20
時間数合計	140

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： Webプログラミング			科目担当： 山 舘 誠		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 101 時間	実績 _____ 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	1. 教科書 よくわかるPHPの教科書 マイナビ出版 たにぐち まこと 著 2. 実習課題 Twitter風ひとこと掲示板				
目標	1. PHP 言語の基本を理解し、CGI の仕組みと MySQL と連携した動的ホームページの作成手法を学ぶ。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. プログラム入門、PHPの準備	5
2. PHPの基本① (データの取得と表示)	10
3. PHPの基本② (制御)	10
4. PHPの基本③ (さまざまな処理)	10
5. PHPの基本④ (外部ファイルの扱い)	5
6. データベースの基本① (SQLの基本)	10
7. データベースの基本② (SQLの応用)	10
8. 実用的なプログラムの制作① (Webシステム)	20
9. 実用的なプログラムの制作② (Twitter風ひとこと掲示板)	21
時間数合計	101

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： Word			科目担当： 岩 崎 彰 男		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>34</u> 時間	実績 <u>    </u> 時間	通年 <del>前期</del> ・後期	
教材	1. 教科書 30時間アカデミック Word&Excel 実教出版 杉本くみ子 著 ====> 1年次購入済み				
目標	1. Microsoft Wordの特徴と操作方法を理解する。 2. ビジネス文書の入力、変更ができる。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び実習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

指 導 事 項	予定時間
1. ビジネス文書の基礎知識	5
2. ビジネス文書	5
3. タブ設定と表挿入	5
4. 図形要素の挿入	5
5. 表の編集	5
6. 段組みと縦横の混在	5
7. 長文に便利な機能	4
時間数合計	34

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： アルゴリズム設計		科目担当： 山 館 誠 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科		学年： 1年	予定 <u>94</u> 時間	実績 <u>    </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期
教材	1. 教科書 <u>アルゴリズムとデータ構造</u> <u>ウイネット</u> 出版 <u>    </u> 著 2. 副教材 ITワールド (インフォテック・サーブ)				
目標	1. 処理手順の基本アルゴリズムを理解し、その図式表現であるフローチャートや擬似言語を学ぶ。 2. 情報技術者試験問題を解答できる能力を養う。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・ 講義と問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出欠状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥及び⑦は、成果に応じた加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 殆どの部分を初心者が理解するには膨大な時間が必要となることが予想されるため、基本的に予習を勧めていない。 (2) 復習は大いに勧めている。学習内容を繰り返す事で、どれだけ知識や技術が身に付くかを測定のため、随所に問題演習(確認テスト、課題演習、模擬テスト)を設けている。 4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

指 導 事 項	予定時間
1. アルゴリズムの基本 (手順の考え方、流れ図)	10
2. 流れ図の基本パターン	5
3. データ構造 (配列、添字、リスト、スタック、構造体)	5
4. 繰り返し処理	5
5. 整数計算	5
6. 配列操作	5
7. 擬似言語 (文法、読み方、書き方)	5
8. 擬似言語でのデータ構造の利用法	5
9. 探索アルゴリズム (線形探索、2分探索)	10
10. 整列アルゴリズム (基本整列法3種、クイックソート)	10
11. ファイル処理	5
12. 文字列操作 (文字と文字列)	5
13. ビット操作	5
14. 問題演習	14
時間数10合計	94



2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： コミュニケーション技法		科目担当： 岩崎 彰男		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>84</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>学生のコミュニケーション・スキルの学び</u> <u>実教</u> 出版				
目標	1. コミュニケーションの基本となる「話す」「聞く」を学ぶ。 2. 演習での実践を行い、的確に意見を伝えることを体得する。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

指 導 事 項	予定時間
1. 自己紹介	2
2. 情報を調整する	4
3. 段落の構成を理解する	4
4. 要約する	4
5. 文章の構造を理解する	4
6. プランニングする 1	4
7. プランニングする 2	4
8. 異なる主張から検討する	4
9. 理由の妥当性を考える	4
10. 証拠となる資料を探す	4
11. 論理的なつながりを検討する	4
12. 原稿を作成する	4
13. 資料を作成する	4
14. 発表する	4
15. 実技演習	30
時間数合計	84

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： コンピュータシステム		科目担当： 山 館 誠 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>154</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>ITワールド</u> <u>インフォテック・サーブ</u> 出版 <u>      </u> 著 2. 副教材 基本情報技術者 合格教本 3. 副教材 基本情報 STEP UP 演習 知識応用対策 (インフォテック・サーブ)				
目標	実務時に、同僚やお客様との会合等で、内容を理解できて提案ができる人材を目指す。 また、基本情報技術者試験の問題を解答できる程度を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義と問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出欠状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥及び⑦は、成果に応じた加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 殆どの部分を初心者が理解するには膨大な時間が必要となることが予想されるため、基本的に予習を勧めていない。 (2) 復習は大いに勧めている。学習内容を繰り返す事で、どれだけ知識や技術が身に付くかを測定のため、随所に問題演習(確認テスト、課題演習、模擬テスト)を設けている。 4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

指 導 事 項	予定時間
0. 導入	5
1-1. コンピュータの基本構成	10
1-2. コンピュータのデータ表現	10
1-3. 中央処理装置と主記憶装置	10
1-4. 補助記憶装置	10
1-5. 入出力装置	10
2-1. 情報処理システムの処理形態	10
2-2. 高信頼化システムの構成	10
2-3. 情報処理システムの評価	5
2-4. ヒューマンインタフェース	5
2-5. マルチメディア	5
3-1. ソフトウェアの分類	10
3-2. OS (オペレーティングシステム)	10
3-3. プログラム言語と言語プロセッサ	10
3-4. ファイル	10
基本情報技術者試験 (FE) の午前試験免除試験の答練	24
時間数合計	154

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称：サーバ構築実習		科目担当：成田 英孝 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：ITエンジニア科	学年：2年	予定 48 時間	実績 _____ 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>インターネット</u> で必要な情報を検索 2. 実習課題 サービスプログラムの設定と利用法のマニュアルの作成				
目標	1. Linux 系OSのインストールと設定方法、及び Web、DB、FTP サーバなどの構築や設定方法を学ぶ。 2. ネットワークに接続された各種サーバの運用やシステム管理を補助できる技術の修得を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. L i n u xのインストールと設定、およびO Sの使用方法の学習 IPアドレスの設定 グループメンバーのユーザ登録、sshでの他のマシンからの接続、SSLの実現、CUIとGUIの体験	15
2. W e bサーバ、F T Pサーバのインストールと設定	15
3. D Bサーバ、その他サーバのインストールと設定	10
4. インストールマニュアルの作成	8
時間数合計	48

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： システム開発			科目担当： 成田英孝 (システム設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 119 時間	実績 _____ 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>Java システム開発技法・開発演習</u> <u>インフォテックサーブ</u> 出版 <u>インフォテックサーブ</u> 著				
	2. 実習課題 KIDDA-LA(株)の「ピザ注文受付業務システム」開発				
目標	1. 下記を念頭に業務システムの開発を疑似体験する。 ① オブジェクト指向の特性を生かしたプログラミング。 ② ビューによる相互チェックの実施。 ③ 設計、ビューにおけるUMLの活用。 2. 企業連携により実務に即した専門知識を修得。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義と課題実習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出欠状況 ② 授業中の学習態度 ③ 実習課題提出状況 ④ 実際のシステム開発企業からの社員による評価 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～④の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 真似事でも習い事でもなく、新規開発のため、予習や復習ではなく、作業報告やミーティング、インスペクションが主体である。 4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。				

指 導 事 項	予定時間
1. Eclipseの操作復習、システム受注(注文受付のシステム化)とシステム開発手法(UML)の理解 MySQL利用法、DAOとDTOの考え方、3グループのメンバー決定。(株吉田システムからの依頼)	15
2. KIDDA-LA株の「ピザ注文受付業務システム」開発開始 ソフトウェア要件定義(日程計画、利用者への配慮) ソフトウェア方式設計(ユースケース図、シーケンス図、クラス図)	20
3. 結合テスト仕様書(外部設計)、単体テスト仕様書(内部設計)、単体テスト(コード生成)実施	20
4. 結合テスト実施、適格性テスト実施、ドキュメントの完備	30
5. 納品 発表会の実施(株吉田システムの担当から質問や評価で参加)	5
6. 上記「システム開発」の不備への対策→卒業研究への足掛かり	29
時間数合計	119



2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： システム設計		科目担当： 山 舘 誠 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科		学年： 1年	予定 <u>54</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期
教材	1. 教科書 <u>IT戦略とマネジメント</u> <u>インフォテック・サーブ</u> 出版 <u>      </u> 著 2. 副教材 基本情報技術者 合格教本 3. 副教材 基本情報 STEP UP 演習 知識応用対策 (インフォテック・サーブ)				
目標	実務時に、同僚やお客様との会合等で、内容を理解できて提案ができる人材を目指す。 また、基本情報技術者試験の問題を解答できる程度を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義と問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出欠状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥及び⑦は、成果に応じた加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 殆どの部分を初心者が理解するには膨大な時間が必要となることが予想されるため、基本的に予習を勧めていない。 (2) 復習は大いに勧めている。学習内容を繰り返す事で、どれだけ知識や技術が身に付くかを測定のため、随所に問題演習(確認テスト、課題演習、模擬テスト)を設けている。 4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

指 導 事 項	予定時間
1. システム開発技術	6
2. ソフトウェア開発技術	6
3. システム開発環境	6
4. Webアプリケーション開発	6
5. Webアプリケーション開発（インターネットとの関連）	6
6. 「デザイン思考」を身につける（デーリー東北新聞社の講師による講義及び演習）	10
7. 問題演習	14
時間数合計	54

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： デジタル画像処理			科目担当： 成田 英孝		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>52</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教材 <u>GIMP 2.8 独習ナビ</u>				
目標	1. GIMP の基本的な操作方法を理解し、自分でイメージした画像を作成できる。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義及び問題演習。</li> </ul> <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜評価項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出席状況</li> <li>② 期末テスト</li> <li>③ 確認テスト</li> <li>④ 授業中の学習態度</li> <li>⑤ 課題提出状況</li> <li>⑥ 検定取得状況</li> <li>⑦ 模擬テスト</li> </ul> <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜評価基準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A：85点以上</li> <li>B：70点以上85点未満</li> <li>C：60点以上70点未満</li> <li>D：60点未満</li> </ul> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. GIMPの基本操作	6
2. 食べ物の写真をおいしそうに演出する	6
3. 2枚の写真を自然に合成する	6
4. 風景写真を水彩画のように加工する	6
5. サークル活動やユニフォームのロゴを作成する	6
6. 写真をトレースしてカラーのイラストを仕上げる	10
6. グリーティングカードの作成	12
時間数合計	52

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： データベース技術			科目担当： 山 館 誠 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 57 時間	実績 _____ 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>ITワールド</u> <u>インフォテック・サーブ</u> 出版 _____ 著 2. 副教材 基本情報技術者 合格教本 3. 副教材 基本情報 STEP UP 演習 知識応用対策 (インフォテック・サーブ)				
目標	1. データベースの特徴や基本的概念を理解し、SQL言語によるデータベース操作の手法を学ぶ。 2. 情報技術者試験問題を解答できる能力を養う。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. データベースの概要 (ファイルとの違い、データベース設計)	10
2. SQL (データ定義、データ操作)	15
3. いろいろなデータベース (分散データベース、データウェアハウス)	5
4. 問題演習 (正規化、ERモデル、SQL)	15
5. データベースサーバー実習 (MySQL、PHPによるサーバサイド・スクリプト)	12
時間数合計	57

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： ネットワーク技術			科目担当： 岩 崎 彰 男 (システム開発の経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 57 時間	実績 _____ 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>ITワールド</u> <u>インフォテック・サーブ</u> 出版 _____ 著 2. 副教材 基本情報技術者 午前 問題集 (インフォテック・サーブ)				
目標	1. インターネットやLANなどコンピュータ間通信の仕組みや、安全で効果的な利用方法を学ぶ。 2. 情報技術者試験問題を解答できる能力を養う。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

指 導 事 項	予定時間
1. ネットワークの仕組み	9
2. ネットワークアーキテクチャ	10
3. LAN	10
4. インターネット	9
5. ネットワーク管理	5
6. 情報セキュリティの概要	9
7. 情報セキュリティ対策	5
時間数合計	57



2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： ビジネスマナー		科目担当：國 分 義 史 (経理・事務職経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>36</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期
教材	1. 教科書 マイロード21専修・各種学校生の就職ガイド改訂版 実務出版(株)発行 就職指導研究会著 2. 経済基礎知識 プリント (自製) 3. 数学プリント (自製)			
目標	1. 就職に対する基本的な心構えを構築する。 2. 職業人として知っておくべき経済基礎知識を学ぶ。 3. 為替に関する知識を身につけ、経済ニュースへの理解を深める。			
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 確認テスト ③ 授業中の学習態度 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。			

指 導 事 項	予定時間
1. 教科書の第一章～第四章までを、実例と講師体験談を交えて、就職研修までに解説する。	2 5
2. 経済の基礎知識を自製のプリントで解説し、経済に関するニュースの理解力を高める。	1 1
時間数合計	3 6

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： プレゼンテーション技法		科目担当： 岩 崎 彰 男		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>59</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>プレゼンテーション+PowerPoint2016</u> <u>実教</u> 出版				
	1. Powerpoint の特徴と操作方法を修得する。 2. 効果的なプレゼンテーションテクニックやスライド作成技術の修得を目指す。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義及び問題演習。</li> </ul> <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">&lt;評価項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出席状況</li> <li>② 期末テスト</li> <li>③ 確認テスト</li> <li>④ 授業中の学習態度</li> <li>⑤ 課題提出状況</li> <li>⑥ 検定取得状況</li> <li>⑦ 模擬テスト</li> </ul> <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">&lt;評価基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A：85点以上</li> <li>B：70点以上85点未満</li> <li>C：60点以上70点未満</li> <li>D：60点未満</li> </ul> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

指 導 事 項	予定時間
1. プレゼンテーションの目的と一般的留意点 (第1章)	3
2. プレゼンテーションの構成について (第2章)	3
3. プレゼンテーションと表現技術 (第3章)	3
4. 視覚資料作成のポイント (第4章)	3
5. スライドの作成方法 (第5章)	10
6. 効果的なスライドの作成方法 (第6章)	3
7. プレゼンテーション能力向上のために (第7章)	4
8. 課題実習	30
時間数合計	59

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称：ペン字		科目担当：西川 裕子 (日本教育書道連盟 一般部師範)		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師
学科：ITエンジニア科	学年：2年	予定 <u>34</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期
教材	1. 教科書 <u>ペン習字教室</u> <u>日本習字普及協会</u> 出版 <u>佐藤友理</u> 著			
コメント	(成果・改善案を記入して下さい)			

指導事項	予定時間
1. 漢字の練習	
楷書の基本	4
行書の基本	4
2. かなの練習	4
3. 漢字かな交じり文の練習	8
4. 実用書式の練習	6
5. 硬筆書写検定試験問題の練習	8
時間数合計	34

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： マネジメントサイエンス			科目担当： 岩 崎 彰 男 (システム開発の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>130</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	教科書 <u>IT戦略とマネジメント</u> (株)インフォテック・サーブ 出版 <u>IT戦略とマネジメントサブノート</u> (株)インフォテック・サーブ 出版				
目標	マネジメントサイエンスに関して、基本情報技術者試験の午前問題を解答できるレベルの知識を身に付ける。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義及び問題演習。</li> </ul> <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 出席状況</li> <li>② 期末テスト</li> <li>③ 確認テスト</li> <li>④ 授業中の学習態度</li> <li>⑤ 課題提出状況</li> <li>⑥ 検定取得状況</li> <li>⑦ 模擬テスト</li> </ol> <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <p>A：85点以上          B：70点以上85点未満          C：60点以上70点未満          D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 情報システム戦略	15
2. 経営戦略	15
3. 企業と法務	15
4. セキュリティ	20
5. プロジェクトマネジメント	15
6. サービスマネジメント	15
7. システム監査と内部統制	15
8. 問題演習	20
時間数合計	130

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： ラズパイ実習			科目担当： 成田 英孝 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>40</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>インターネットで必要な情報を検索</u> 2. 実習課題 H/W 制御や人工知能へのチャレンジ立案と実績を報告書にまとめる				
目標	1. ハードウェアとソフトウェアとの連携による基礎的な制御を学ぶ。 2. OSは raspbian、言語は python、ハードウェアはカメラ制御と画像処理、LED や抵抗器などで構築技術の習得を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				



・ 授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 実習環境のハードウェア整備 (RaspberryPiの概要、各種インタフェース仕様の確認、ネットワーク設定等の事前学習)	5
2. OSインストールと各種設定、基本操作学習 (起動用microSDカードの準備、Raspbianのインストール、Linuxコマンドの基本操作学習)	10
3. 電子回路の制御実習と機械学習過程の検証 (Python言語学習、ブレッドボードを利用したLED点灯回路の作成、LED制御プログラムの作成、 機械学習として「花」を他と区別できるプログラムを作成)	15
4. 報告書の作成	10
時間数合計	40

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： 国家試験対策 I			科目担当： 山 舘 誠 (電子回路設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>138</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 基本情報技術者 合格教本 <u>      </u> <u>      </u> 技術評論社 出版 <u>      </u> 角谷一成 他 著 2. 副教材 基本情報技術者 パーフェクトラニング過去問題集 3. プリント 過去問題 情報処理活用検定やサテファイ情報処理検定の過去問題				
目標	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等の情報処理技術者試験合格を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義と問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出欠状況 ② 授業中の学習態度 ③ 問題演習での得点 ④ 模擬テスト ⑤ 検定取得状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～③の合計点を100点満点換算し、以下の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目④及び⑤は、成果に応じた加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 宿題の配布により、復習や予習となる。 4. 授業期間全体の進め方は、次ページに対象項目と予定時間数により実施する。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

指 導 事 項	予定時間
1. 基本情報技術者試験（FE）の午前試験免除講座	20
2. 国家試験基本情報技術者 過去問題の演習と解説	20
3. 国家試験基本情報技術者 模擬試験の実施と解説	10
4. 国家試験応用情報技術者 午後過去問題の演習と解説 (基本情報技術者試験の1回目不合格者は、上記2の繰返し)	88
時間数合計	138

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： 国家試験対策Ⅱ		科目担当： 成田 英孝 (システム設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>71</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>基本情報・応用情報技術者試験 問題集</u> <u>インフォテックサーブ</u> 出版 2. 副教材 <u>模擬試験、過去問題</u>				
目標	1. 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等の情報処理技術者試験合格を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2) 評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2) 評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上 85点未満 C：60点以上 70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 春期国家試験対策（基本情報技術者試験主体 模擬試験や過去問題の実施、解説）	71
時間数合計	71

2021度

# 学習指導進度表

科目名称： 就職実務			科目担当： 成 田 英 孝		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>34</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>一般常識チェック&amp;マスター</u> 実教出版 <u>マイロード21</u> 実教出版 2. 副教材 ビジネスマナーテキスト、ビジネス文書検定問題集				
目標	1. 文書作成、電話対応、仕事の進め方など、社会人としての心構えや実務の知識修得を目指す。 2. ビジネス社会のルールを学び、入社後の備えとしてビジネスマナーを再確認する。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 就職試験対策（SPI対策、一般常識）	10
2. ビジネスマナー（電話応対、接客の仕方、仕事の進め方、職場でのマナー等）	7
3. ビジネス文書作成訓練（社内文書、社外文書）	7
4. 時事問題（最新ニュースの要約）、時事用語の解説	6
5. スピーチ練習	4
時間数合計	34

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： 商業簿記			科目担当： 成 田 英 孝		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： ITエンジニア科	学年： 2年	予定 <u>133</u> 時間	実績 <u>        </u> 時間	通年・ <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>日商簿記3級テキスト</u> <u>ネットスクール</u> 出版 <u>桑原知之</u> 著 2. 副教材 <u>日商簿記3級問題集</u> <u>ネットスクール</u> 出版 <u>桑原知之</u> 著 <u>合格するための過去問題集日商簿記3級</u> <u>TAC</u> 出版				
目標	1. 簿記の基本的概念を修得し、企業会計の基礎知識を身に付ける。 2. 全経簿記3級の取得を目指す(授業は日商簿記3級合格レベル)。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				



・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 数字を知り数字で語るということ	2
2. 仕訳と転記	6
3. 決算の手続き	6
4. 現金と預金の処理	6
5. 現金過不足と当座借越、小口現金	6
6. 商品売買	8
7. 手形	4
8. その他の債権債務	4
9. 有価証券、有形固定資産	6
10. 伝票会計	6
11. 決算予備手続と試算表作成	16
12. 決算本手続	12
13. 決算報告手続	8
14. 過去問題演習	16
15. 全経簿記能力検定3級対策（過去問題の答練）	27
時間数合計	150

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称： 情報数学		科目担当： 外 里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： ITエンジニア科	学年： 1年	予定 <u>70</u> 時間	実績 <u>      </u> 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>問題プリント</u> 自作 2. 補助教材 <u>SPIプリント</u> 自作				
目標	1. 情報処理技術を理解する上で必要な基礎数学を学び、数学的思考力や統計的分析力を身に付ける。 2. 情報技術者試験問題を解答できる能力を養う。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 一次方程式（連立含む、簡単な文章題）	15
2. 集合（部分集合や補集合、ド・モルガンの法則、命題と理論）	10
3. 順列・組合（ $n!$ 、 $nPr$ 、 $nCr$ ）	10
4. 確率（試行と事象、期待値）	15
5. 統計（メジアン、モード、度数分布、正規分布、推定、回帰分析）	20
時間数合計	70

2021年度

# 学習指導進度表

科目名称：卒業研究			科目担当：成田 英孝 (システム設計の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科：ITエンジニア科	学年：2年	予定 204 時間	実績 _____ 時間	通年・前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
教材	1. 教科書 <u>卒業研究の手引き</u> <u>卒業研究検討委員会</u> 出版 2. 副教材 各種参考資料 (インターネット、書籍)				
目標	1. グループ或いは個人単位でプログラム作成や調査研究に取り組む。 2. テーマ設定から成果物の作成、発表まですべての行程を学生自身が管理、実行する。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 卒業研究の取り組み方の確認	2
2. グループと役割、スケジュールの完成	8
3. テーマ選定のための予備研究（問題提起、要求仕様）	20
4. 本研究1（基本仕様、概要設計、ドキュメント作成）	34
5. 中間発表準備（レジュメ作成、発表スライドの作成、発表練習）、中間発表（H31/11/18）	20
6. 本研究2（詳細設計、コード作成、動作検証、プログラムに付随するドキュメント作成）	80
7. 最終発表準備（発表資料の作成、問題の洗い出しと改善策、質問への対処）、最終発表（H32/1/28）	20
8. 研究論文（仕様書類）のまとめ、資料の整理	20
時間数合計	204